

# KATE The 43<sup>rd</sup> ANNUAL CONVENTION in Kanagawa

## 関東甲信越英語教育学会 第43回神奈川研究大会

関東甲信越英語教育学会会長・神奈川研究大会実行委員長 齊田 智里 (横浜国立大学)  
神奈川研究大会実行副委員長 満尾 貞行 (横浜国立大学)

2019年8月10日(土)・11日(日)の2日間、横浜国立大学におきまして、関東甲信越英語教育学会第43回神奈川研究大会を開催いたします。小中高の英語教育に関わる全ての方のご参加をお待ちしております。

- 期 日：2019年8月10日(土)・11日(日)
- 会 場：横浜国立大学 教育学部7号館・8号館 <http://www.ynu.ac.jp/index.html>  
〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-2
- 主 催：関東甲信越英語教育学会  
学会事務局  
〒370-0033 群馬県高崎市中大類町58-2  
高崎健康福祉大学 人間発達学部 嶋田 和成 研究室内  
E-mail : [kate2018office@gmail.com](mailto:kate2018office@gmail.com)  
学会ウェブサイト : <http://www.kate-j.sakura.ne.jp/>
- 共 催：横浜国立大学
- 後 援：神奈川県教育委員会  
：横浜市教育委員会
- 協 力：公益財団法人 横浜観光コンベンション・ビューロー
- 本大会に関する問い合わせ先  
第43回神奈川研究大会事務局  
〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1  
東海大学 文学部 保坂 華子 研究室内  
E-mail : [kate2019kanagawa@gmail.com](mailto:kate2019kanagawa@gmail.com)

KANTOKOSHINETSU ASSOCIATION OF TEACHERS OF ENGLISH  
Informative, Innovative, Imaginative, and Interactive

Aug. 10-11, 2019

## 関東甲信越英語教育学会第43回神奈川研究大会プログラム一覧

■プログラムは通し番号で示されています。同じ番号のプログラムは、同時進行で開催します。

■展示会場では大会開催期間、協賛企業による展示が随時行われています。

8月10日（土）		
11:30 - 12:30	理事会・受付	企業 展 示
12:30 - 12:50	開会行事	
13:00 - 15:30	1 自由研究発表・実践報告（4枠）	
15:30 - 15:50	休憩	
15:50 - 17:30	2 シンポジウム「英語教育における学習評価のあり方を考える： 真に学習者が伸びる評価を目指して」	
17:50 - 19:20	3 懇親会	

8月11日（日）			
9:30 - 10:00	受付		企業 展 示
10:00 - 11:10	4 自由研究発表・実践報告（2枠）		
11:15 - 11:45	5-A 総会	5-B	
11:45 - 12:30	昼食（学会各委員会・事務局合同会議）	学生昼食会（11:20 - 12:30）	
12:30 - 13:40	6 自由研究発表・実践報告（2枠）		
13:40 - 14:00	休憩		
14:00 - 15:10	7-A 大会実行委員会企画 「児童・生徒の学習活動を『見える化』 する ICT の活用」	7-B ワークショップ（中学校） 「5ラウンドシステムによる英語授業」	
15:10 - 15:30	休憩		
15:30 - 16:40	8-A ワークショップ（小学校） 「『Flat Stanley Project』の紹介」	8-B ワークショップ（高等学校） 「Using Debate in English Classes」	
16:40 - 16:50	閉会行事		

### 大会参加のお申込み方法

参加を希望される会員の皆さまはウェブサイトでの大会参加申込を必ず行い、下記の要領で事前にお支払いをお済ませください。自由研究発表・実践報告を申し込まれた方も大会参加の手続きが必要となります。

■参加資格：関東甲信越英語教育学会の会員（2019年度年会費を7月22日までに納入してください。入会手続きは学会ウェブサイトで受け付けています）、その他、英語教育に従事する方、英語教育に関心を持っている方

■参加申込：事前のお申し込みは、7月22日（月）まで受け付けます。お申し込みは、学会ウェブサイトで行ってください。当日も参加申込をお受けしますが、『発表要綱（冊子）』については事前に参加申込を行っていただいた申込者数に合わせて準備しますので、お渡しできない場合があります。また、事前にお申し込みいただくと、受付手続きもスムーズに済みますので、上記の期間中にお申し込み・お支払いの上ご参加いただけますようご協力をお願いいたします。

■参加費：関東甲信越英語教育学会会員は、事前申込1,000円（当日2,000円）です。非会員は事前申込2,500円（当日3,000円）です。学生は事前申込1,000円（当日2,000円）です。次の口座にご入金ください（クレジットカードでのご入金はできません。また、ご入金いただいた後のご返金は理由のいかんにかかわらずできません）。

みずほ銀行 秦野支店（支店コード：383） 普通3002995 関東甲信越英語教育学会事務局

なお、上記口座は、関東甲信越英語教育学会研究大会専用口座のため、学会年会費のお振り込みはご遠慮ください。また、関東甲信越英語教育学会が発行する領収証が必要な方は、事前申込の際に学会ウェブサイト内で申請していただくか、あるいは大会当日に受付まで振込を証明する書類をお持ちいただければ、そこで領収証を発行いたします。振込状況の確認に1週間から10日間ほど時間を要しますので、振込期限を過ぎてからのお振り込みは原則おやめください。万が一期限を過ぎてから振込をされた場合は、大会当日必ず振込を証明する書類をご持参ください。振込を証明する書類の確認ができない場合は、当日に参加費をお支払いいただく可能性もございます。

■発表要綱：『発表要綱』の冊子は大会当日に受付にてお渡しします。また、PDF版を学会ウェブサイトにて公開します。公開方法等につきましては、会員メーリングリスト等によりお知らせします。

### 自由研究発表・実践報告

- 自由研究発表・実践報告 時間：発表 20分，質疑応答 10分 とします。（今年度はポスター発表はありません。）
- 発表資格：2019年6月12日（水）までに2019年度の年会費を納入済みの方。共同発表者も同じです。入会手続きは学会ウェブサイトで行ってください。発表数は筆頭著者として1件まで，それ以外を含めて最大2件までです。
- 研究発表申込と『発表要綱』の原稿の送付：①自由研究発表・実践報告の申込と『発表要綱』の原稿の送付は，2019年6月1日（土）から6月12日（水）までに学会ウェブサイトの指示に従い，指定アドレスにお送りください。②発表受付期間終了後に6月12日までに年会費を納入されていないことが判明した場合，いったん受け付けましたお申し込みを取り消させていただきます。十分ご注意ください。③『発表要綱』の原稿を担当で審査し，修正のお願いをすることもあります。発表が認められない等の場合は7月10日（水）までにご連絡します。④発表日，時間，順番に関しては，学会担当にご一任ください。

### 総会

- 日 時：2019年8月11日（日）11:15～11:45 ■場 所：教育学部7号館（教室は後日掲載します。）  
関東甲信越英語教育学会の事業報告，今後の事業方針，人事，決算・予算などを議決します。会員の方は万障お繰り合わせの上，ご出席ください。

### シンポジウム

- 日 時：2019年8月10日（土）15:50～17:30 ■場 所：教育学部8号館（予定）（教室は後日掲載します。）
- テーマ：「英語教育における学習評価のあり方を考える：真に学習者が伸びる評価を目指して」
- 司会・コーディネーター：齊田智里（横浜国立大学）
- 発表者：酒井英樹（信州大学）・松沢伸二（新潟大学）・静 哲人（大東文化大学）
- 英語教育改革が進められる中，教科としての小学校英語の導入や英語4技能民間試験の大学入試への活用などが決まり，英語教育における評価のあり方への関心が高まっている。本シンポジウムでは，真に学習者を伸ばす評価を目指して，教室における英語の学習評価のあり方に焦点をあてる。まず，酒井英樹先生に，改訂学習指導要領の観点から外国語科の評価の枠組みとポイントについてご説明いただく。次に，松沢伸二先生に，小学校英語の評価及び円滑な小中高大連携を進めるための学習評価のあり方について議論していただく。そして，静哲人先生には授業内でのインフォーマルな評価を重視する立場から，評価方法としての「グルグル・メソッド」についてお話しいただく。齊田が3名の発表者による議論をまとめ論点を整理する。最後にフロアと質疑応答・意見交換を行い，真に学習者にとって有益な英語の評価のあり方について考えを深める機会としたい。

### 懇親会

- 日 時：2019年8月10日（土）17:50～19:20 ■場 所：横浜国立大学 レンガ亭
- 参加費：4,000円 ■参加申込：大会参加申込と同時に学会ウェブサイトでご予約ください。代金は大会参加費と合わせて，関東甲信越英語教育学会研究大会専用口座（p. 2）にご入金願います。ご入金後の返金は，理由のいかんにかかわらずいたしかねます。

### 大会実行委員会企画

- 日 時：2019年8月11日（日）14:00～15:10 ■場 所：教育学部7号館（教室は後日掲載します。）
- テーマ：「児童・生徒の学習活動を『見える化』する ICT の活用」
- コーディネーター・発表者：濱田 彰（明海大学）
- 本企画では，児童・生徒の学習活動をよりよく把握するための ICT ツールである「Pear Deck」と「Google Classroom」を紹介し，授業においては一人ひとりの理解度や活動内容をきちんと把握することが望ましいものの，クラスサイズによってはそれが難しい場合もあります。Pear Deck は授業中にインタラクティブな課題を見せることのできるツールです。Google Classroom を使えば授業外での学習管理が容易になります。声の大きな学習者も物静かな学習者も等しく授業に参加できる仕掛けを皆さまと一緒に作ってみたいと思います。各ツールの体験希望の方は以下を準備してご参加ください。
  - ネット環境（ご自分の Wi-Fi，4G 回線か，eduroam などをご利用ください。会場での提供はございません。）
  - ノートパソコン，タブレット，もしくはスマートフォン
  - Google アカウント (Gmail)

### ワークショップ（中学校）

- 日 時：2019年8月11日（日）14:00～15:10 ■場 所：教育学部7号館（教室は後日掲載します。）
- テーマ：「5 ラウンドシステムによる英語授業」
- コーディネーター・発表者：西村秀之（横浜市教育委員会事務局）
- 発表者：阿部 卓・山本丁友（神奈川県横浜市立南高等学校附属中学校）
- 平成24年に横浜市立南高等学校附属中学校で「英語を自分の言葉として場面，状況等に応じて自由に自己表現できる生徒」を育てることを目指し考えられた5 ラウンドシステムによる英語授業。その後，他校や他都市での取り組みも始まり，それぞれのアレンジが加えられながら，少しずつ広がりを見せています。改めて開始当初の5 ラウンドシステムによる英語授業の意図，狙い等を参加される皆さまに実体験をいただきながらお伝えする予定です。

## ワークショップ (小学校)

■ 日 時：2019年8月11日 (日) 15:30～16:40 ■ 場 所：教育学部7号館 (教室は後日掲載します。)

■ テーマ：『Flat Stanley Project』の紹介

■ コーディネーター：満尾貞行 (横浜国立大学)

■ 発表者：阿部志乃 (横須賀学院小学校)、北野ゆき (大阪府守口市立さつき学園)

■ 本ワークショップでは、小学生でも取り組める「Flat Stanley Project」を紹介します。これはFlat Stanleyという絵本を元にカナダの先生が始めたもので、絵本の主人公 Stanley になった自分 (紙人形) が世界の様々な地域に出かけて行き、現地の様子を知る国際交流活動です。毎年たくさんの国や地域から出発した Stanley 人形が、世界中を旅しています。「直接見て、触れる外国」である Stanley 人形は児童にとって非常にインパクトがあり、教室内に外国語の必要性を作り出します。ワークショップでは、実際に国外から来日している Stanley 人形を手にとってもらい、調べ学習、Stanley のレポート作りといった児童の活動を体験することで、気軽に取り組める国際交流の一つの形を知ってもらうことを目的とします。

詳細リンク：<https://yges.padlet.org/elementary/FlatStanley>

## ワークショップ (高等学校)

■ 日 時：2019年8月11日 (日) 15:30～16:40 ■ 場 所：教育学部7号館 (教室は後日掲載します。)

■ テーマ：「Using Debate in English Classes—英語授業でのディベートの活用—」

■ コーディネーター：綾部 功 (東海大学) ■ 発表者：三仙真也 (福井県立藤島高等学校)

■ 特にここ数年、高校生を対象とした英語ディベート大会が多様化し、高校生が難しい話題について英語で活発に議論する機会が増えてきました。英語ディベートを経験することによって、英語の表現力を増やし、議論をしながら英語発表能力や論理的思考力などを磨くことができます。「準備型ディベート」、あるいは「即興型ディベート」の特性を活かした英語授業実践例の報告と、その手法についてのワークショップで実際に体験していただき、ディベートを活用した英語授業について話し合います。

## 宿泊案内

JR 横浜駅周辺にホテルが多数ありますので、各自で早めにお申し込みください (学会による宿泊手配は行っておりません)。

## 会場での昼食

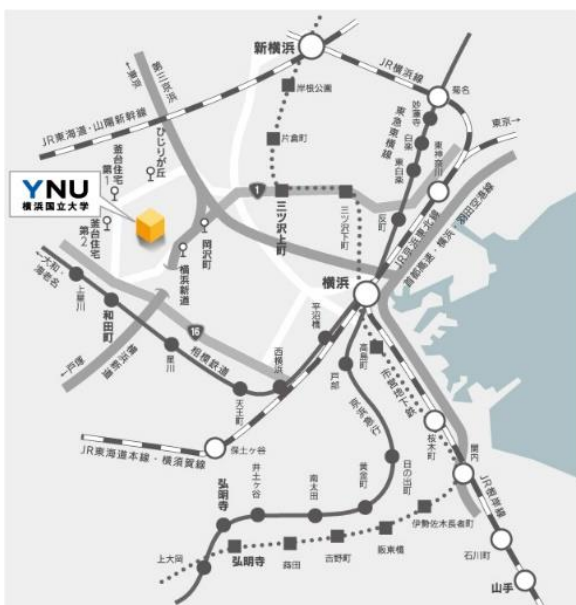
大会期間中、昼食の販売をします。大会参加申込と同時に学会ウェブサイトでご予約ください。代金は大会参加費と合わせて、郵便振替用紙にて関東甲信越英語教育学会の上記 (p. 2) の口座にご入金願います。ご入金後の返金は、理由のいかんにかかわらずいたしかねます。大学周辺には飲食店はありませので、昼食の販売をご利用ください。

## 託児所開設について

託児所を用意しますので、ご利用の方は学会ウェブサイトにて6月12日 (水) までに事前にお申し込みください。

## 横浜国立大学へのアクセス

大会会場へは公共交通機関でお越しください。JR 横浜駅西口からバス (横浜市営バスか相鉄バスで岡沢町下車) または地下鉄 (横浜市営地下鉄ブルーライン三ツ沢上町下車) をご利用ください。なお学内乗り入れバスは平日のみで土日の運行はありませんのでご注意ください。お車でお越しの方が駐車できるスペースは学内にありません。詳しくは、[大学ウェブサイトのアクセス案内](http://www.ynu.ac.jp/access/index.html#ind-03)をご覧ください。



## 横浜国立大学周辺マップ



■ 大会期間中に横浜駅から大学との間で貸切バスの運行を予定しています。詳細は後日学会ウェブサイトに掲載します。